HITACHI
Inspire the Next

日立クッキングヒーター

設置説明書

HT-14HB形

（ビルトインタイプ）

設置される方へのお願い

- この設置説明書は取扱説明書、保証書とともに必ずお客様にお渡しください。
- 試運転を必ず行い、お客様へ正しい使いかたをご説明ください。

安全のため必ずお守りください

設置をする前に、この設置説明書をよくお読みになり、正しく設置をしてください。
ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容ですので、必ずお守りください。表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

この記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容が描かれています。

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

⚠警告

分解禁止

絶対に分解・修理・改造は行わない

発火・異常動作してけがをする恐れ

設置は、この「設置説明書」に従って、確実に行う(ブレーカーは「切」にして行ってください)

設置に不備があると、漏電・火災の原因

100V－15A以上の専用回路とブレーカーを設置する

他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱する恐れ、感電・火災の原因

電気配線工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」が行う

接続・固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因

アース線を接続せよ

アース工事は、電気設備技術基準等関連する法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと
漏電時に感電の恐れ

⚠注意

トッププレートに衝撃を加えない

万一ひびが入ったり割れると、過熱・異常動作・感電の原因

※トッププレートの上に乗ったり、物を落としたりしないでください。

試運転中は、トッププレートなどの高温部に触れない

やけどの恐れ

カウンタートップの材料は、耐熱材料のものを使う

熱硬化樹脂化粧板（JIS K 6903）またはこれと同等以上のもの
耐熱性の低い材料を使用すると、変形・火災の原因になります。

※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

設置をされる方へのお願い

●この商品は、適切な電気工事と設置がされていませんと性能が十分発揮できないばかりか、過熱などの危険が生じる場合がありますので、この設置説明書をよくお読みのうえ、適切な設置をお願い致します。
●電気工事は、必ず「電気工事士」の免許をお持ちの方が行ってください。
●設置完了後は、必ず「設置完了後の確認」を行い、お客様へご説明ください。

⚠お願い

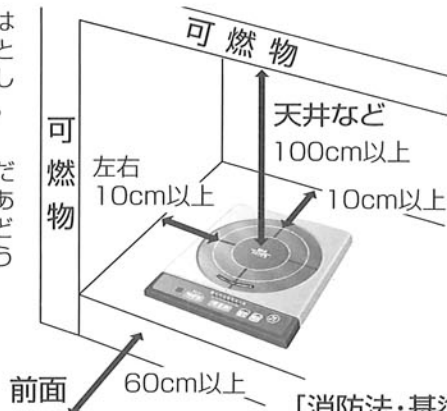
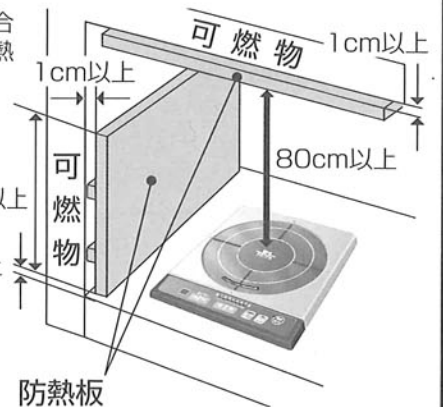
設置するときは、火災予防条例に基づき、必ず可燃物との離隔距離を守る

離隔距離が近いと火災の原因

プラグの刃および刃の取付面に、ほこりが付着していないことを確認し、ガタのないよう根元まで確実に差し込む

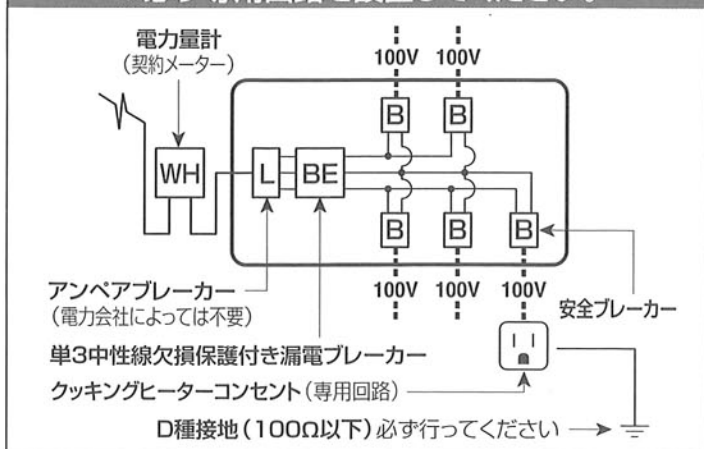
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合、感電や火災の原因

設置場所の確認

●火災予防条例、電気設備技術基準第59条に従って設置してください。
●製品の金属部がキッチンの金属部と接触する場合、建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とキッチンの金属部を接触しないようにするか、または製品の金属部がキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。
●製品は水平に設置してください。

電気工事　必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください。

専用回路とコンセントの設置

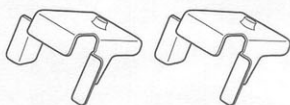
■電源にブレーカー付きの専用回路を設置する

■コンセントを設置する

• コンセントは、100V－15A以上のものを専用に設けてください。
• 取り付け位置は、電源コードの長さ（0.7m）の範囲内とし、修理時などにプラグを抜くことができるようにしてください。

設置前の準備

付属品の確認

※取扱説明書、保証書があることを確認してください。

固定金具
（2個）

蝶ボルト（2個）

取付け穴の寸法

（単位：mm）

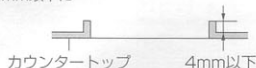
正方形の取り付け穴		長方形の取り付け穴	
カウンタートップが薄い場合	カウンタートップが厚い場合	カウンタートップが薄い場合	カウンタートップが厚い場合

カウンタートップの寸法

※十分な強度のカウンタートップを使ってください。

■ 薄板（ステンレスなど）の場合

●外周にフランジを立てて補強する場合

フランジの高さを4mm以下にしてください。

●打ち抜き穴の場合

裏打ちなどで補強してください。

■ 木材などの場合

板厚30mm以下のものを使ってください。

●板厚30mm以上の場合

本体取り付け穴の周囲を30mm以下に加工してください。

■ フラッシュ（中空構造）の場合

必ず、本体を受ける位置に芯材がくるようにしてください。

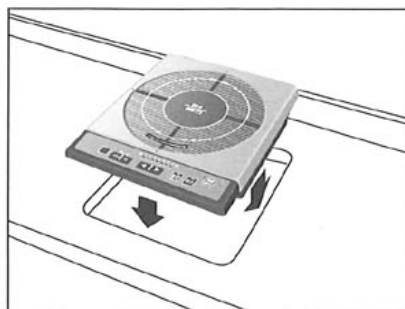
ミニキッチンの加工

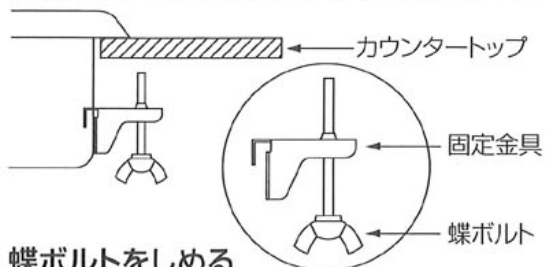
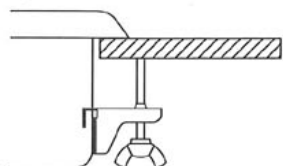
※製品は内部温度が上昇すると、安全装置が働くため、必ずミニキッチンに吸気口を開けてください。

（単位：mm）

扉タイプミニキッチンの場合	冷蔵庫タイプミニキッチンの場合

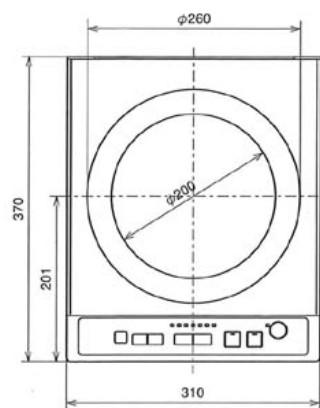
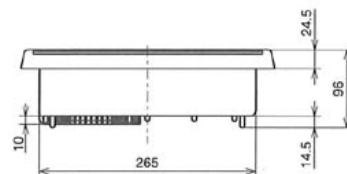
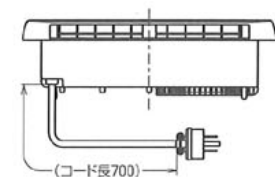
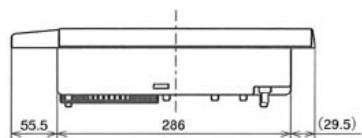
設置方法 必ずブレーカーをしゃ断して設置を行ってください。

1. 本体をカウンタートップにはめ込む

本体を取付け穴の中心にはめ込んで、取り付け穴が見えないようにしてください。

2. 固定金具を本体側面の角穴にひっかける

3. 蝶ボルトをしめる

本体外周とカウンタートップが密着しシール性が確保されていることを確認してください。
また、すき間がある場合は別売のボウスイテープ（HT-20HB034:メーカー希望小売価格315円（税込、2009年3月現在））を使用してください。

4. プラグを差し込む

製品寸法図 (単位：mm)

平面図

前面図

後面図

側面図

設置完了後の確認

●通電をする前にトッププレートの上に梱包材がないことを必ず確認してください。
●設置終了後、次の手順で確認してください。

	確　認　項　目		確認欄
電気工事	アースが設置されていますか。		
	漏電しゃ断器が設置されていますか。		
	プラグを接続しましたか。		
試運転	①クッキングヒーターの電源電圧が「100V」であることを必ず確認してください。 （電圧異常の場合は C6 を表示します）		
	②電源切/入キーを約1秒間押してください。	●電源ランプが点灯します。	
	③ヒーターを「入」にして、動作を確認してください。 鍋に200mL程度の水を入れ、ヒーターの中央に置き、ヒーター切/入キーを約1秒間押してください。 ※鍋を置かないと通電しません。 （鍋はIHヒーター用の磁石のつきのよい鍋で、鍋底が平らな直径約12～26cmのものをご使用ください）	●火力表示ランプと通電ランプが点灯し、しばらくするとお湯が沸とうします。 ●排気口から風が出ます。	

◆確認終了後は必ず 電源切／入キー を押して「切」にしてください。

日立アプライアンス株式会社

〒105−8410 東京都港区西新橋 2−15−12 電話 (03)3502−2111

NH215026-01 2003-07（DC・M）6